

## 平成 17 年度 病害虫発生予察情報 速報 第 1 号

### 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ）の発生状況について

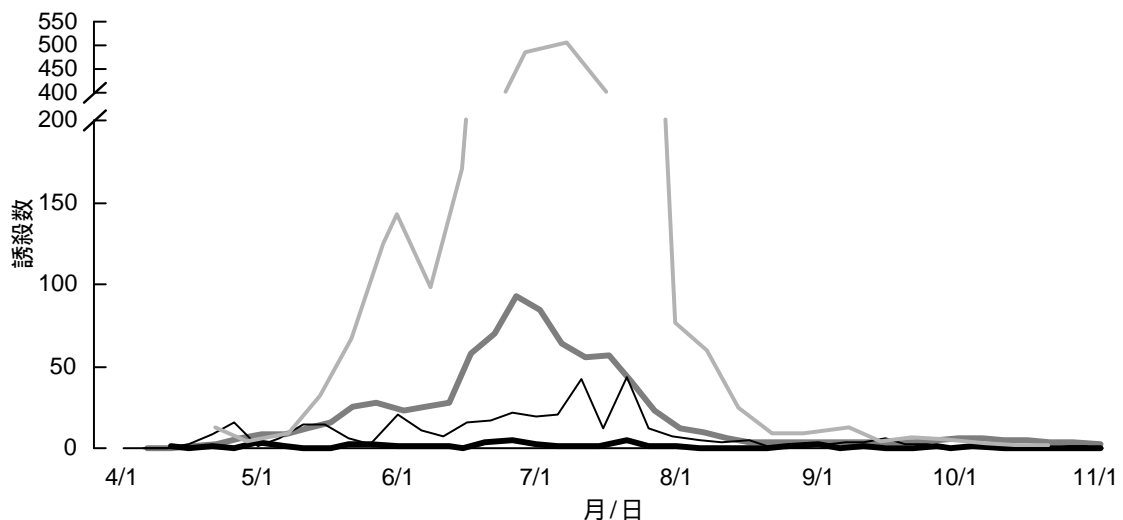
#### 1. 発生状況

- (1) 昨年（2005年）秋期のチャバネアオカメムシのフェロモントラップへの誘殺数は、昨年に比べても、また例年に比べても極めて少なかった（図1）。
- (2) 2006（平成18）年2月24日に広葉樹林の落葉中におけるチャバネアオカメムシ成虫の越冬個体数を都内4地域（各地域1 m<sup>2</sup>×3～5地点、総計14 m<sup>2</sup>）で調査した結果、昨年はどの地点でも確認されなかったが、今年は1地点（立川市）で確認された（表1）。

#### 2. 発生予想

- (1) 以上の結果と気象庁発表の3か月予報（3～5月：平均気温は平年並か高く、降水量は平年並み）から、2006（平成18）年春期～夏期（4～7月）のチャバネアオカメムシ発生量はやや少ない～例年並と予想される。
- (2) 今後の発生については、予察情報に注意されたい。
- (3) 防除薬剤については、表2を参照されたい。

なお既に報じられているとおり、今年の春のスギ花粉飛散数は昨年よりも大幅に少なく、例年の約半分と予想されているが、今後の情報には注意されたい。



— : 2005年, — : 2004年, — : 1998-2004年平均, — : 2001年(多発年)。

図1 チャバネアオカメムシフェロモントラップ誘殺数の推移（立川市）。

表1 チャバネアオカメムシ越冬量調査結果 (2006年2月24日採集, 3月6日調査)

調査地域	調査面積( m <sup>2</sup> )	採集個体数	地域内平均個体数 ( 個体/m <sup>2</sup> )	昨年 ( 2005年 ) の データ ( 個体/m <sup>2</sup> )
稲城市小田良-1	1	0		
稲城市小田良-2	1	0		
稲城市小田良-3	1	0		
稲城市小田良-4	1	0		
稲城市小田良-5	1	0	0.00	0.00
稲城市坂浜-1	1	0		
稲城市坂浜-2	1	0		
稲城市坂浜-3	1	0	0.00	0.00
日野市三沢-1	1	0		
日野市三沢-2	1	0		
日野市三沢-3	1	0	0.00	0.00
<b>立川市富士見町-1</b>	1	<b>1</b>		
立川市富士見町-2	1	0		
立川市富士見町-3	1	0	0.33	0.00 ( 2地点 )
全地点平均個体数 ( 個体/m <sup>2</sup> )			0.07 ( 14地点 )	0.00 ( 13地点 )

表2 主な防除薬剤 ( \*印は桑園近くでの使用は不可 )

薬 剤 名	薬剤の系統	使用時期	使用回数	ナシ	リンゴ
ア - デント水和剤*	合成ピレトroid*	7	3		
アグロスリン水和剤*	合成ピレトroid*	1	3		
アディオソ乳剤*	合成ピレトroid*	1	2		
アディオソフロアブル*	合成ピレトroid*	1	2		
ロディー水和剤*	合成ピレトroid*	1	2		
Mr. ジョーカー水和剤*	有機ケイ素	14	2		
スプラサイド水和剤	有機リン	7	3	有袋	
		45	2	無袋	
スミチオン水和剤40	有機リン	ナシ14/リンゴ3	ナシ6/リンゴ3	有袋	
		ナシ21/リンゴ30	ナシ6/リンゴ3	無袋	
アドマイヤー顆粒水和剤*	ネオニコチノイド*	3	2		
ベストガード水溶剤*	ネオニコチノイド*	14	3		
アクタラ顆粒水溶剤*	ネオニコチノイド*	ナシ1/リンゴ7	ナシ3/リンゴ2		
アルバリン顆粒水溶剤*	ネオニコチノイド*	1	3		
スタークル顆粒水溶剤*	ネオニコチノイド*	1	3		

.....

防除所ホームページ<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>  
 テレフォンサービス042 (525) 8407  
 今後の予察情報にご注意下さい。  
 E-mail アドレスS0200303@section.metro.tokyo.jp